

成田運転支区廃止・総武緩行線業務移管阻止せよ

7/31「6・11ダイ改」提案される



動労千葉

86. 8. 2

No. 2309

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五〇六（公衆）〇四七二二二七二〇七

国鉄当局は七月三十一日、「六一・一一ダイ改」の具体的提案を行ってきた。それによると全国で二万五千人削減するとして、千葉運転区成田支区廃止、運転関係二一〇人削減などが提案されてきたが「六一・一一ダイ改」こそが八万人大合理化であり「分割・民営化」一十万人首切り攻撃の総仕上げとしてあり、断じて容認できるものでない。「六一・一一ダイ改」阻止へ全力で決起しよう。

当局はこの「ダイ改」をもって全国で約二万五千人を削減するとし、その内訳は、

運転系統・約九千、営業系統・約一万五千を削減、千葉局においては運転で二一〇人、車掌、その他を含めて総計四二二人の削減というものである。

運転関係についての提案の主な内容は、

1. 車両基地・乗務員基地の統廃合
 - (1) 千葉運転区成田支区を廃止（検修構内業務は存置する）
 - (2) 新小岩貨車区と新小岩機関区を統合し、新小岩運転所とする。
2. 構内無線の導入による構内業務の近代化・・・津田沼電車区、幕張電車区
3. 乗務員関係
 - (1) 東京三局との乗務分担の見直し・・・津田沼電車区、千葉運転区、成田支区
 - (2) 乗務員担当線区の拡大・・・千葉運転区新小岩機関区 佐倉機関区
 - (3) 臨時、指導、技術、交番、外勤、その他の見直し
 - (4) 各区乗務員運用の見直し
 - (5) 乗務員派出所の見直し・・・津田沼電車区お茶の水派出所廃止
4. 検修関係

茶の水派出所廃止

細部については「交渉ニュース」参照。

運転関係削減数

	事務職	士職	検修職	構内職	列乗等	計
新小岩機関区	▲ 4	▲ 19		▲ 3		▲ 86
新小岩貨車区			▲ 6		▲ 54	
佐倉機関区	▲ 1	▲ 5	▲ 4	▲ 4		▲ 14
木更津支区		1				1
津田沼電車区		▲ 47	▲ 1	▲ 3		▲ 51
新習志野派出所		2				2
幕張電車区	▲ 1	3	3	▲ 5		0
千葉運転区	▲ 1	▲ 11				▲ 12
成田支区	▲ 3	▲ 44	▲ 3			▲ 50
館山運転区						0
鏡子運転区		7				7
勝浦運転区		▲ 4		▲ 3		▲ 7
合計	▲ 10	▲ 117	▲ 11	▲ 18	▲ 54	▲ 210

乗務時間さらに増やす

今回の提案の特徴として、旅客運転本数が一割増え、全列車の一日の運転距離を十一万一千キロも増やし各線区でスピードアップなど徹底した効率化を図る一方で貨物は大幅に本数が減される。当局は運転系統は、運転士・機関士の乗務時間をさらに増やすとしている。

その結果、運転で九千人が削減される。動労革マル・松崎の「骨身を削る運動」動乗勤の裏切りや「ダイ改」毎の合理化受け入れて運転には約一万六千の「過員」が発生した。

松崎は「六一・一一ダイ改」を「骨身を削り利便性を高める動労方針にそったものだ」と評価し、全面的に受け入れんとしている。

乗務時間の増、スピードアップ、検修保守合理化など、労働条件・運転保安は劣悪化する。これを「利用しやすい国鉄」などと松崎や当局が国鉄労働者や国民をあざむこうとしている

八千八百キロを業務移管

何よりも許せないことは、三月業務移管につき今回も、津電区から四千二百キロ、千転区から四千キロ、成田区から五百キロの八千八百キロを業務移管したうえに玉突き広域配転攻撃を画策していることだ。これは当局と松崎が結託した動労千葉・国労への攻撃であり、断じて許してはならない。一月ダイ改阻止の大反撃に打って出よう！